



# はじめましょう 歯みがき習慣!

犬・猫の歯周の健康を守るために



日本小動物歯科研究会会長  
獣医学博士

藤田 桂一 先生

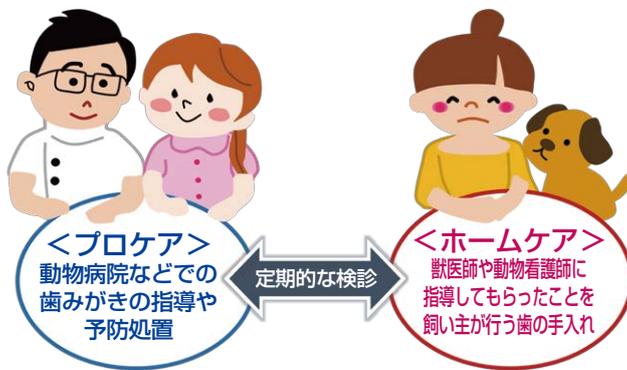
## <推薦の言葉>

犬・猫のホームケアの重要性が強調されて久しく、実際、ペットショップやホームセンターでは、非常に多くのデンタルケア商品が陳列されています。その中から何をどのように使用したらよいか迷われている飼い主さんはとても多いです。しかし、デンタルケアの基本は、デンタルブラシを用いた歯みがきであることは言うまでもありません。

このたび、ホームケア分野では実績ナンバーワンのライオンペット(株)様と私、さらに歯科衛生士でもある当院の婦長とが7年間を費やし、ブラシの大きさや形状、毛の密度と触感、持ちやすさ、毛先のたわみ程度などを何度も検証を重ねて完成に至った小型犬・猫用に開発された「健康なお口のデイリーケア用のラウンド毛タイプ」のほか、「できはじめての歯周ポケットケア用のダブル毛タイプ」ならびに「歯周ポケットしっかりケア用の超極細毛タイプ」の3種類のラインナップが揃いました。この毛先を作成された技術はライオンペット様だからこそその卓越した優れた技術の賜物と感心しております。

歯周の健康課題の多くは歯頸部とポケット内の歯垢が原因となりますので、この部位に毛先を当てて小刻みに動かして歯垢を除去することで歯周の健康を守ることが可能になります。これらのデンタルブラシを使用されている当院の多くの飼い主さんから「持ちやすく、毛先が細くなめらかで、狭いポケット内まで行き届くために、デンタルケアをいやがらず、できるようになりました」とのお声をいただいております。この3種類を適切な適用例にしたがって、ぜひ、使用されることをお勧めいたします。ただし、3mm以上の歯周ポケットが形成されている場合は、まず歯周の治療を行ってから使用してください。

※上記コメントは2018年1月に収録したものです。



ホームケアの指導をする際は、  
歯周の状態に合わせた歯ブラシを推奨しましょう!

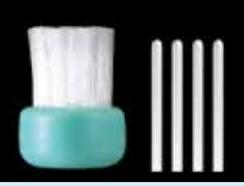
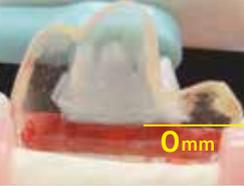
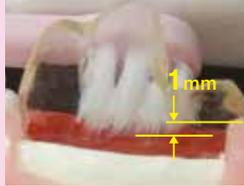
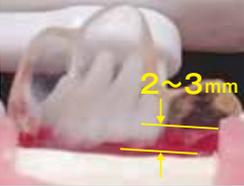


## 獣医師推奨設計

監修：フジタ動物病院 藤田桂一院長

# 獣医師推奨設計 歯面、歯周ポケットの歯垢をしっかりと除去!

- 1 小さな口のペットにも使いやすい超コンパクトヘッド
- 2 ペットの歯ぐきにやさしい細くて柔らかい毛
- 3 飼い主様に握りやすいハンドル
- 4 歯周の状態に合わせて選べる3タイプの植毛

	健康なお口の デイリーケア <b>ラウンド毛タイプ</b>	ではじめの 歯周ポケットケア <b>ダブル毛タイプ</b>	歯周ポケット しっかりケア <b>超極細毛タイプ</b>
<b>毛先の種類</b>	 <b>特長</b> 毛先が丸く、細くて弾性のある毛を高密度で植毛	 <b>特長</b> ラウンド毛と超極細毛の両方の特徴を持つハイブリッド植毛	 <b>特長</b> せまいスキ間にも入り込むように特殊加工の超極細毛を植毛
<b>毛先到達性</b> ※1	 <b>性能</b> 歯面の歯垢を効率よく除去し、ソフトな毛が歯肉をマッサージ 0mm	 <b>性能</b> 2種類の毛の組合せで歯面とポケットの両方の歯垢を効率よく除去 1mm	 <b>性能</b> ポケットの奥深くの歯垢を毛がしなるようにかき出して除去 2~3mm
<b>臨床使用例</b> ※2	 <b>適用例</b> ● 健全な歯肉を持つ犬・猫のケア ● 歯みがきトレーニングを始める幼犬・幼猫 ● 歯周の治療後の犬・猫	 <b>適用例</b> ● 歯と歯肉の境目に歯垢がたまり始め、歯面と歯周ポケットの両方をケアしたい犬・猫 ● 1mm程度の歯周ポケットができ始めた犬・猫	 <b>適用例</b> ● 治療※3にまで至らないが歯と歯肉の間に歯垢がたまっているためしっかりケアしたい犬・猫 ● 2~3mm程度の歯周ポケットが形成されている犬・猫



※1:犬の下顎第1後臼歯透明歯牙モデルによる評価 ※2:犬の下顎犬歯での評価(フジタ動物病院写真提供)  
※3:3mm以上歯周ポケットが形成されている場合は、歯周の治療を行う



ガムから歯ブラシまで。毎日のオーラルケアをサポート。

